

2027年度中学校入試概要

**新思考
入学試験** [募集形態] 専願・併願
 [試験日] 2026年12月6日(日)
 [試験会場] 唐津(本校)・早大
 [合格発表] 2026年12月11日(金)

**新思考
入学試験
(帰国生入試)** [募集形態] 専願・併願
 [試験日] 2026年12月6日(日)
 [試験会場] 唐津(本校)・早大
 [合格発表] 2026年12月11日(金)

**1月
入学試験** [募集形態] 専願・併願
 [試験日] 2027年1月11日(月・祝)
 [試験会場] 唐津(本校)・佐賀・福岡・
 北九州・熊本・鹿児島・
 早大
 [合格発表] 2027年1月16日(土)

**2月
入学試験** [募集形態] 専願・併願
 [試験日] 2027年2月5日(金)
 [試験会場] 唐津(本校)・早大
 [合格発表] 2027年2月6日(土)

過去の入試結果は
 ウェブサイトをご確認ください。
 ※出願にあたっては、2026年秋に発行する
 募集要項を必ずご確認ください。

[募集人員] 九州入試:80名(一般枠40名・地域枠40名) 首都圏入試:40名(一般枠40名)
[地域枠] 唐津やその周辺地域から通学し、地域活動や地域の文化事業に対して積極的に参加する気概を持つ生徒のための入試です。
 全国各地から唐津へ移住して生活する生徒も対象とします。なお、この入試による入学者は在学期間中は自宅から通学するものとします。

2027年度高等学校入試概要

**推薦
入学試験** [募集形態] 専願
 [試験日] 2026年12月12日(土)
 [試験会場] 唐津(本校)
 [合格発表] 2026年12月15日(火)

**12月
帰国生
入学試験** [募集形態] 専願・併願
 [試験日] 2026年12月12日(土)
 [試験会場] 唐津(本校)
 [合格発表] 2026年12月15日(火)

**1月
入学試験** [募集形態] 専願・併願
 [試験日] 2027年1月10日(日)
 [試験会場] 唐津(本校)・佐賀・福岡・北九州・熊本・
 鹿児島・早大
 [合格発表] 2027年1月16日(土)

**1月
帰国生
入学試験** [募集形態] 専願・併願
 [試験日] 2027年1月10日(日)
 [試験会場] 唐津(本校)・早大
 [合格発表] 2027年1月16日(土)

**2月
入学試験** [募集形態] 専願・併願
 [試験日] 2027年2月13日(土)
 [試験会場] 唐津(本校)・早大
 [合格発表] 2027年2月15日(月)

学校説明会 [Web申込] **早稲田佐賀オンライン個別相談会実施!** 参加には事前予約が必要です 本校ウェブサイトからお申込ください。

オープンスクール	学校説明会	入試説明会
中学オープンスクール 6/6 [唐津市/本校] ・個別プログラム(希望制) 9:20 - ・全体プログラム 10:15 - 高校オープンスクール 8/22 [唐津市/本校] 10:00 -	6/13 [佐世保市] 中高10:00 - [福岡市西区] 中高10:00 - 6/20 [佐賀市] 中10:00 - 高13:00 - [熊本市] 中高10:00 - 6/27 [横浜市] 中高14:00 -	6/28 [早稲田大学] 中9:50 - 高12:50 - <small>早稲田大学附属・系属合同説明会</small> 7/4 [鹿児島市] 中高10:00 - 7/5 [宮崎市] 中高10:00 - 7/11 [北九州市] 中高10:00 - 7/12 [大分市] 中高10:00 -
		7/18 [長崎市] 中高10:00 - 7/26 [福岡市] 中10:00 - 高13:00 - <small>早稲田大学 オンラインキャンパス 共催</small> 9/5 [早稲田大学] 中10:00 - 高13:30 - 9/16 [福岡市] 中高18:30 -
		10/18 [唐津市/本校] 中10:00 - 高14:00 - 10/24 [早稲田大学] 中10:00 - 高14:00 -

※ウェブ申込は、各開催日の1ヵ月前から行うことができます。

早稲田大学系属
早稲田佐賀中学校
早稲田佐賀高等学校
 〒847-0016 佐賀県唐津市東城内7-1
 TEL 0955-58-9000(代表)
 E-mail contact@wasedasaga.jp
 https://www.wasedasaga.jp



WASEDA SAGA

Guide Book
2027

世界で生きていく

情報、技術、人やもの、あらゆるものが国境を越えている現在、
私たちは多くの場面で世界と繋がるできるようになった。

だからこそ、早稲田佐賀は「世界と繋がる人材」に留まらない、
「繋がった世界の先」を見据えた、確かな学力と豊かな人間性をもつ、
世界の発展に貢献できる人材育成を目指している。

「繋がった世界」に自ら興味をもち、文化や経済、環境を理解し、経験と知識を身につける。
自分の未来を自分で切り拓き、世界で生きていける、そんなグローバルな人材を。

君の繋がっている世界には、「その先」がある。
ここで、世界で生きるひとになろう。

確かな学力と豊かな人間性を兼ね備えた
グローバルリーダーの育成を目指す早稲田佐賀は、
創立以来、建学の精神として
「**学問の独立**」「**進取の精神**」「**地球市民の育成**」
を掲げています。

建学の精神

学問の独立

現在、そして未来のあらゆる課題に挑戦できる
基礎的な学力と実践的な応用力を育成します。

進取の精神

さまざまな事象を積極的に取り入れ、
そこから新しいものを創造する精神を育成します。

地球市民の育成

日本、そして世界の将来に貢献する
人間性豊かなリーダーとなる人材を育成します。





TOPIC.1

早稲田大学との強固な連携と多様な進路支援

高い推薦実績

卒業生の約6割が早稲田大学へ進学。2025年度入学生からは最大148名の学校推薦型選抜試験の推薦枠が設けられています。(P.15～16)

大学の知に触れる

早稲田大学全13学部の模擬講義や、他大学の教授を招いての模擬講義を実施し高校生への学問への関心を高め進路決定の手助けを行います。また早稲田大学の正規授業をオンライン受講して単位認定される「特別聴講制度」など、系属校ならではの連携も充実しています。(P.17)

多様な進路支援

国立大学や医学部を目指す生徒への指導も手厚く、医療現場の厳しさや医療従事者の心構えを体感する「Medical Workshop」などを通じて高い志を支援します。また、ニュージーランドのオタゴ大学との指定校推薦入試制度を導入し、進路選択の幅が広がりました。(P.15～17)

TOPIC.2

自主性と探究心を磨く「早稲田佐賀の学び」

「Think Locally Act Globally」

中学では地域課題から地球規模の問題について深く考え、自分たちの行動が世界に貢献できることを学びます。自分の興味を追求することで学ぶ楽しさを知り、ポスターセッションや卒業研究発表会を通して自分の考えを他者に伝えるスキルを磨きます。(P.9～10)

起業家教育プロジェクト

高校では「地域、日本、世界の抱える問題」を発見し、具体的に解決することを目標とし共感するメンバーとのビジネスプランを考える教育を実施しています。生徒たちは授業だけの学びに留まらず、自分たちで様々なコンテストに応募し、優秀な成績を収めています。(P.11)

学びの楽しさを体感する「ワセクエ」

ワセクエとは昼休み、放課後に実施される早稲田佐賀の探究活動の事です。オリジナルアイス開発プロジェクトやリーダーシップ養成塾など希望制で参加できる講座を年間100前後実施しています。(P.12)

グローバル社会を生き抜く視点と人間力を養う多彩なプログラム

英語学習の導入期にはネイティブ講師による授業や日々の授業で実践的な英語力を磨きます。英語学習の最終段階においては、大学のレポートや研究論文など、学術的な文書を英語で書くため必要な表現やスキルを学びます。さらに海外研修や各種留学、ターム語学研修など、世界を舞台に挑戦できる環境が生徒の成長を強力に後押しします。(P.13～14)

TOPIC.3

全国から仲間が集う「八太郎館」と唐津の豊かな環境

規律を育む「八太郎館」

全国から集まる生徒が寝食を共にし、規則正しい生活と夜間の学習時間を通じて、自律心や仲間との絆を育みます。また、寮の担任となる先生と学校の先生が協力し、寮生の心身の成長を支えます。(P.25～)

絆を深める様々な体験

民泊体験やホテル鑑賞会など、地域の文化や環境に触れて唐津の魅力を体験します。また、スポーツ観戦やミュージカル鑑賞、バスハイクなど友人との絆を深めるイベントもたくさん実施しています。イベントは寮の生徒会「八太郎会」によって運営されています。(P.28)

中学生

早い段階での基礎力習得。 応用力で次のステージへ。

中学校では基礎学力を重視し、その上で、思考力や応用力を育成します。総合的な学習の時間における地域学習や職業講演会等のキャリア教育も充実させています。また、道徳の時間を通して、豊かで思いやりのある心を育てるため、さまざまな資料を活用して心に響く授業を展開しています。

教育方針 自発的な学習と基本的な生活習慣の習得

1 主体的に学ぶ学習姿勢の習得

本校では、学習の基本である「自ら気づくこと」「興味関心をもつこと」「自主的な学習の習慣化」を大切に、それが誰にでも萌芽するよう、一人ひとりを導きます。

2 知・徳・体の完成

健全な心身で努力をし、大きく夢を抱くために、知・徳・体をバランス良く身につけていきます。そして豊かな人間性を持ち、健全な心身で努力し、夢を大きく抱ける生徒を育成します。

3 大学に直結する中高一貫教育の展開

一人ひとりの適性を正しく捉え、ハイレベルな授業を実施します。早稲田大学のもつ人的・知的財産も活用しながらより高い学力の育成を目指します。

高校生

生徒同士が 互いに高め合える環境。

高校1年生では中学校からの入学生と高校からの入学生がお互いに高め合うことができる授業を展開します。高校からの入学生には、本校のカリキュラムにスムーズに移行できるようバックアップを行っています。高校2年生では文系・理系に分かれ、進路実現に向けてより学習を深めていきます。進度を重視した授業によって、高校3年生より本格的に入試問題や大学での学びの基礎となる学問に対応した学習へとシフトします。

教育方針 たくましい知性としなやかな感性を育成

1 より高い学力と知的好奇心の育成

大学受験のための学力養成に偏らず、より深く、より広い知識や実力を養成します。現状に妥協することなく常に高みを目指して努力する生徒を育成します。

2 国際社会で活躍するリーダーの育成

英語力の強化はもちろん、地球的な視野と人間力の向上に取り組み、日本だけでなく、国際社会で貢献できるグローバルリーダーを育成します。

3 系属校の生徒としての資質の育成

卒業後、早稲田大学をはじめあらゆる場でそれぞれの専門分野を活かし、イニシアティブを取れる人材を育成します。また地球規模で活躍できる人材育成を目指します。

中1

1年間の指導を通じて、早稲田佐賀での生活に必要なルールとお互いを認め合う気持ちを学びます。学習面では、授業の受け方や家庭学習(寮学習)の習慣を身につけ、基礎学力の定着をはかります。

中2

日々の授業を大切にすることを再確認し、培った基礎学力を応用させる力を身につけます。授業や総合学習を通じて視野を広げ、自分と社会の関わりや自分の将来について考える姿勢を身につけます。

中3

中学校最上級生としての自覚を持ち、部活動や委員会活動、学校行事等でリーダーシップを発揮する立場を経験します。学習面では、一部の教科が高校内容に入り、大学入試を意識した授業になります。

高1

進路目標を明確化し、進路実現の素地をつくります。国語・英語・数学を中心に基礎的な学力を育成すると共に全ての教科や科目に対し、深い興味や関心をもつことができる授業を展開します。

高2

早稲田大学をはじめとする難関大学や医・歯・薬系大学進学に必要な幅広い学力と思考力を育成します。学部説明会や模擬講義などを通して将来をみすえ、さらなる進路意識を高めます。

高3

卒業後の進路目標実現を目指し、更なる学力養成のための演習授業や特別補習、外部講師を招いた講座等を行い進路希望を実現させます。早稲田大学への学校推薦型選抜試験で進学を希望している生徒へは、レポートの書き方や、調査方法についての授業を行い、大学での学びを先取りしています。

早稲田大学 [推薦枠最大148名]

国公立大学、私立大学、医・歯・薬系大学

基礎力養成期

応用力養成期

実践力充実期

生徒会長メッセージ



「学びたい」を全力で応援してくれる学校

「学びたい、挑戦したい」という生徒の意欲を全力で応援してくれる学校、それが早稲田佐賀です。例えば中学校生活集大成の修学旅行。早稲田佐賀では先生方が行き先を決めるのではなく、生徒自身が行きたい(学びたい)場所への熱い想いを生徒の前でプレゼンし、投票で決まります。他にも、先生方や外部講師を招いた「早稲田佐賀クエスト」略して「ワセクエ」と呼ばれる100を超える探究活動があり、興味をもった人は誰でも参加できます。その一つ「早稲田佐賀公式開発お土産プロジェクト」では、先輩方が地元の老舗和菓子店ご協力のもと早稲田佐賀羊羹を作り、見事大ヒット中です。教科書では得られない特別な体験があなたを待っています!

中学3年生
出身地:佐賀県



私が追っていた理想の学校、今ここに。

私が思う早稲田佐賀の良いところは、佐賀の人だけでなく、全国や世界から人が集まり、同じ学び舎で共に学べるところです。このような環境がある学校は、他になかなかないと思います。だからこそ、出会い、互いに高め合う中で生まれる絆は、生涯の中で大切なものになっていくでしょう。また、早稲田佐賀には、勉強面だけでなく、さまざまな分野で何事にも全力で挑戦できる環境があります。私は部活動や生徒会活動などに積極的に取り組んできましたが、後悔は一つもありません。むしろ、早稲田佐賀生であることに誇りをもち、多くの経験をさせてくれた本校に心から感謝しています。皆さんもぜひ、早稲田佐賀で自分の可能性に挑戦してみてください。

高校3年生
出身地:中国・上海



制服紹介

制服デザインの特徴は、早稲田の伝統である男子の詰襟。それにマッチした、女子のプリンセスラインという立体的なノーカラージャケット。シャツはドライタッチ、白でも透けない糸を使用しています。高校生の左胸の校名と刺繍とボタンホールはWASEDAカラーの臙脂、中学生は唐津の空と海を象徴するサックスブルーです。アウターはファインウール高混率で、しなやかさと軽量化を実現しながらも強度が高く、快適な着心地です。



中学校



高等学校

国語

豊かに生きるための 礎を築く

国語は「読む」「書く」「聞く」「話す」という、人が生きていく上で必要不可欠な力を育む教科です。また、評論・小説・古文・漢文など様々なジャンルの作品を読むことで、多様なものの見方や捉え方、登場人物の生き様や考え方、昔の人々のものの見方や感じ方を知ることができ、それが人間性を培うことにも繋がります。

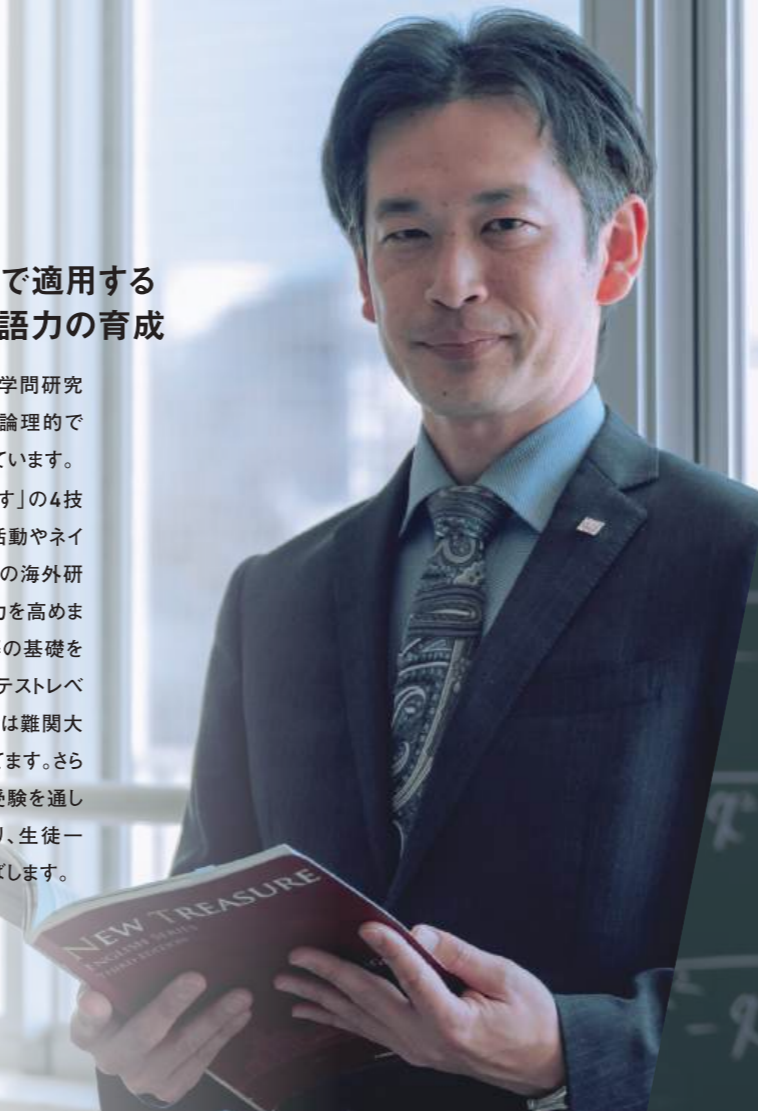
中学校では文章読解に加え、読書や作文、スピーチ等の指導も行い、基礎学力を養います。高校では大学入試に対応できる学力を養うべく現代文や古典中心の授業を行い、小論文の指導も行います。



英語

アカデミックな舞台で適用する 論理的で確かな英語力の育成

本校の英語教育は、大学での学問研究や国際社会で通用するような論理的で正確な英語力の育成を目指しています。授業では「読む・聞く・書く・話す」の4技能をバランスよく伸ばし、音読活動やネイティブ教員による授業、希望制の海外研修などを通して実践的な英語力を高めます。また、語彙・文法・構文理解の基礎を徹底し、高校2年生までに共通テストレベルの力を養成し、高校3年生では難関大学入試にも対応できる力を育てます。さらに英語検定やTOEFL ITPの受験を通して客観的に英語の伸長を図り、生徒一人ひとりの英語力を着実に伸ばします。



数学

確かな基礎力と 知的な好奇心を喚起する 数学的思考力の育成

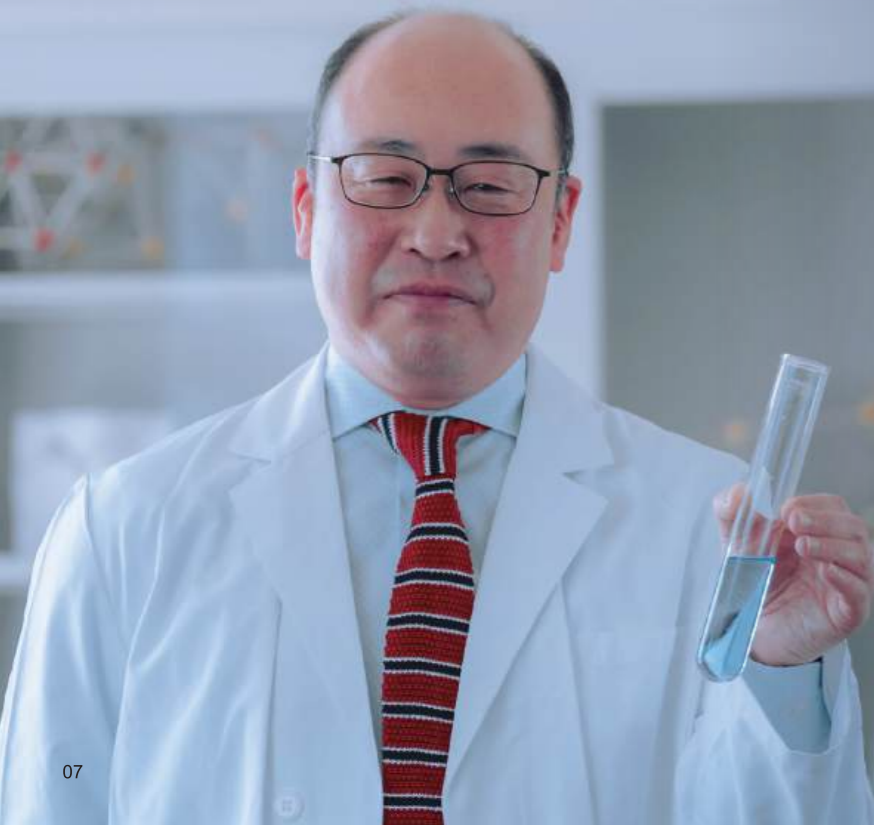
数学科では、確かな基礎力を土台に論理的に考え表現する数学的思考力を育てるとともに、自ら課題を発見し主体的に学ぶ力の育成を目指します。授業では教科書に加え、プリントやICT教材を活用して知的な好奇心を高め、演習を通して思考力と実践的な学力を身につけます。



理科

実験・観察を通して 基礎基本の習得と将来に つながる意識の形成

中学校では、理科1(物理・化学)と理科2(生物・地学)を学び、高校内容も一部取り入れながら基礎基本の定着を図っています。実験や観察を多く行い、結果をもとに考察することで問題解決能力や思考力を養い、生徒一人ひとりの興味・関心を深めています。高校では、実験計画やデータ解析を通して論理的思考力を育成し、科学と実社会との関わりにも触れながらキャリア意識の形成につなげています。受験対策として各分野の演習を行い実践力を高めるとともに、各種コンテストへの参加も積極的に促しています。



社会

「唐津から世界へ」 様々な事象や社会課題に 関心をもち、答えのない問いに 向き合い続ける力を育む

「地球市民の育成」という建学の精神のもと、本校の社会科では、歴史・地理・公民の各分野において教科書だけでなく幅広い学びを大切にしています。現代社会が直面する多様な課題に対して、「進取の精神」をもち、私たちはどのように向き合うべきかを生徒自身が主体的に考えることを重視しています。授業では講義型の学習だけでなく、生徒自らが課題を設定し、資料を調べ、考察を深めていく探究的な学びを積極的に取り入れています。また、外部のコンクールや探究活動への参加も積極的に促し、社会とつながる実践的な経験を重視しています。



Think Locally Act Globally - 早稲田佐賀から世界へ -

未来を拓く力を身につける 探究学習

様々な経験を通して、生徒たちは地球規模の問題について深く考え、自分たちの行動が世界に貢献できることを学びます。探究学習を通じて、自分の興味を追究することで学ぶ楽しさを知り、ポスターセッション、製作CM発表会、プレゼン大会、卒業研究発表会などの機会を通して、自分の考えを他者に伝えるスキルを磨きます。自ら学び、自ら未来を切り拓く力を身につけることを目指します。



中学1年生

「唐津・佐賀で学ぶ」をテーマに、地域の歴史と自然を体感し、地元の文化や環境を深く理解します。



佐賀大自然プログラム

中学校生活の幕開けを飾る、最初の冒険。全国各地から集った新しい仲間たちと共に、佐賀の雄大な自然を舞台に、学びと交流を深める特別な時間。緑豊かな大地を歩き、仲間と心をつなげて船を漕ぎ出す。夜には、地元食材を囲んでの笑顔あふれるバーベキュー。ぎこちないクラスメイトとの関係が、この2日間を通して、かけがえない友情へと変わります。



唐津フィールドワーク

中学1年生は、唐津を舞台としたフィールドワークを実施しており、グループごとに「歴史」「インバウンド」「バリアフリー」「町おこし」といったテーマを設定し、1日をかけて主体的な探究活動に取り組みます。史跡名勝の実地調査や、地域の方々へのインタビュー調査を通じて、唐津の歴史や文化、現状を肌で感じることが出来ます。



大隈重信ゆかりの地探訪

佐賀市内にある大隈重信生家や大隈重信記念館、大隈重信のお墓がある龍泰寺などを訪ね、早稲田大学の歴史や創設への想いを学びます。この研修を通して、早稲田の一員としての自覚を高めます。



唐津体験プログラム

マリンスポーツ、溪流釣り、波止場釣り、魚さばき、地引網体験、佐賀牛マイバガー作り、唐津の名物であるイカの活造りを実際に味わうことが出来る体験など、本校では唐津の魅力を十分に体感できるプログラムを用意しています。

中学2年生

「九州で学ぶ」をテーマに、地域課題の発見と解決に向けた探究を深めます。前期は、地域が抱える課題を具体的に探り、他地域の課題解決に向けた取り組みを学びます。



干潟体験

日本三大稲荷の一つである祐徳稲荷神社を参拝し、その後、有明海にて干潟体験を行います。「ミニガタリンピック」を体験でき、生徒たちは長板に乗って干潟の上を滑る「潟スキー」、クラス対抗の「潟上綱引き」、そして最後に個人戦の「潟フライ競争」を楽しむ事ができます。



研修旅行

地方創生の先進事例を肌で学び、その学びの経験を今後の課題に活かすことを目的に1泊2日の研修旅行を行います。取り組みによってどのように地方が変わり、今、どんな問題を抱えているのかを肌で感じることで、地域社会の課題に目を向け、グローバルな視点をもって行動できる人材へ育成をします。



地域の魅力発信！フードフェス

中学1年次の唐津学習での学びを活かし、中学2年前期には「フードフェス」を実施します。文化祭での販売を目標に、地域の飲食店の方々のご協力のもと、唐津を盛り上げるオリジナルメニューの考案に挑戦します。話し合いでは、活発な意見交換が行われ、メニュー決定後、オリジナルロゴやCMの制作、販売方法の工夫など、魅力的な商品づくりに取り組みます。

中学3年生

「日本で学ぶ」をテーマに、2年間の探究学習の集大成として、興味をもつテーマについて深く探究し、卒業研究に取り組みます。



生徒がつくりあげる修学旅行

中学2年次に生徒たちは、設定された条件内で修学旅行の行程案を作成し、クラス内でコンペを実施。クラス内で選ばれた企画は学年コンペへ進み、勝ち残った企画が中学3年生の修学旅行となります。異文化体験をすることで日本と違う文化や常識に触れ、違いを認識できるようになり、人間的にも大きく成長できます。



卒業研究発表会

中学1・2年次に培った学びを基に、生徒全員が卒業研究に挑みます。興味ある課題を自ら探究し、知的好奇心を満たしながら学ぶ楽しさを体感。一つの課題に長期間取り組めるのが、中高一貫校ならではの大きなポイントです。

中学1・2・3年生



フロンティアセミナー in WASEDA SAGA

職業講演会を実施して、様々な職種への理解を深めます。特に保護者による講話には、多数の方々のご協力を得ています。また、生徒の職業理解のために、外部講師として大勢の専門家を招いて指導を受けています。

高校探究学習の成果

自発的な学びを育成する高校総合学習。
 本校では、自ら問題を見つけ、解決し、提案する力を育てています。
 さまざまなコンテストや大会へ出場をし、
 毎年多くの成果を残しています。



全国高校生プレゼン甲子園 最優秀賞

全国777チームの中から決勝大会に進出し、社会課題に真摯に向き合いながら試行錯誤を重ね、自分たちの考えを磨き上げてきました。本番では、その想いを込めて堂々と発表し、論理性と表現力が高く評価され、最優秀賞(文部科学大臣賞・JTB賞)を受賞しました。積み重ねてきた努力が実を結び、大きな自信と次なる挑戦へとつながっています。



全国準優勝! 「inochi WAKAZO Forum 2025」にて本校生徒が大躍進

Nakanoshima Qrossoverで開催された「inochi WAKAZO Forum 2025 (i-GIP全国大会)」にて、本校の高校2年生3名が九州代表として出場。全国の舞台上で堂々の準優勝に輝きました。生徒たちは「インスリン注射器用グリップ」を用いた課題解決策を提案。約半年間にわたる九州大学医学部でのフィールドワークや専門家へのヒアリングを通じ、当事者に寄り添ったプランを練り上げました。医療・ヘルスケアの未来に挑んだ、その情熱と創造性が高く評価された結果となりました。



早稲田附属・系属校の頂点へ。学校対抗戦「優勝」の快挙!

早稲田大学が主催する「第3回 早稲田大学附属校・系属校 ビジネスプラン・コンテスト」にて、本校が学校対抗戦で見事優勝を果たしました。「最優秀賞」および「オリジナリティ賞」をダブル受賞した生徒をはじめ、独創的な視点が光った審査員特別賞のチーム「CHIJIIMI」など、参加した全生徒の発想力と熱意が最高の結果を引き寄せました。日本政策金融公庫の協力のもと、実社会のプロも認めたその創意工夫は、本校が重んじる探究学習の大きな成果です。

その他の実績

- 「第20回科学地理オリンピック日本選手権」で銅メダルを受賞
- 科学の甲子園 佐賀県代表全国大会出場
- 「第13回高校生ビジネスプラン・グランプリ」九州地区発表会に出場

- 第9回「佐賀さいこう!企画甲子園」で特別賞を受賞
- 「海洋環境国際シンポジウム みんなの海 国際会議」に登壇
- 「第9回 チャレンジ!!オープンガバナンス2024」で学生賞を受賞



学びの楽しさを体感する「ワセクエ」

ワセクエとは「学びの楽しさ」を体感する早稲田佐賀の探究活動のこと。

小限塾(リーダーシップ講座)、早稲田佐賀公式お土産プロジェクト、ようこそ先輩(卒業生との座談会)、英語で学ぶ教養講座など、昼休みや放課後に年間100前後の講座が開催されます。

ワセクエを通じて、学びの楽しさを体験すると同時に、世界が抱える社会問題に気づき、社会問題を主体的に解決するために、考動する人財の育成を目指します。

- 通学バッグ改善プロジェクト
- 陶芸体験
- 落語体験
- アントプレナーシップ
- エネルギーを考える
- 早稲田佐賀公式おみやげ開発プロジェクト
- 将来のキャリアについて考える
- 裁判傍聴
- オリジナルアイス開発プロジェクト
- リーダーシッププログラム小限塾
- AI活用×勉強方法講座
- クイズプロジェクト
- 政党をつくってみよう
- 世界情勢を分析する
- 林業を考える
- 韓国との文化交流



グローバルリーダー育成に向けての取り組み

早稲田佐賀中学校・高等学校の国際教育では、グローバルな視点、文化理解、人間の成長を高めることを目的としており、相互接続された世界で成長するための貴重なスキルを育成するために役立つ、さまざまなプログラムを用意しています。



共通プログラム

中学生 ネイティブスピーカーとの英語学習

週1回のネイティブ教員による授業を通して、英語でコミュニケーションを図る楽しさと難しさを実感し、英語学習への意欲を高めます。また、その後の英語学習の基礎となる音声の特徴について、体系的に学びます。英語を「言葉」として捉え、自分の思いを伝える手段として活用する機会を多く設けています。

中学生・高校生 ICTを活用した学習

中学生は「音読メーター」や高校生では「AI添削」などを活用し、アウトプットの機会を大幅に増やすことで、家庭学習の質を高めるシステムを導入しています。日頃の授業で学んだ内容を自ら何度も試行錯誤しながら実践することで、単なる知識の習得にとどまらず、自分の力として確実に身につけることを目指します。

高校2・3年生 アカデミックライティング

英語学習の最終段階においては、大学のレポートや研究論文など、学術的な文書を英語で書くため必要な表現やスキルを学びます。一人ひとりの書き手に対し、教員による添削とフィードバックを行います。書くことを通じて総合的な英語運用力を向上させることも狙いとしています。

希望制プログラム

中学生・高校生 海外研修旅行

夏季休業中に、希望者による1週間～10日間程度の研修を実施します。現地学校訪問や同世代との交流を深めることで、世界には様々な考え方や価値観があると改めて認識する事ができ、国際的な視野を身につけることが出来ます。

2026年度研修先(予定)

- オーストラリア・クイーンズランドホームステイ研修
- アメリカ・ボストン三大学研修
- シンガポール・マレーシア最先端技術研修
- エストニア・ソーシャル・アントレナージュ

中学生・高校生 オンライン英会話

グローバル化が進む世界の中で、社会文化的背景の異なる相手に、論理的に自分の意見を伝える力はますます求められています。本校では、スピーキング指導を効果的に行うために、オンライン上で外国人講師とのマンツーマンレッスンを受講する場を希望生徒に提供しています。

中学3年生・高校1年生 進級留学

1年間の留学後に遅れることなく進級し、3年間で高等学校卒業を可能にする制度です。留学先は英語圏に限らず、各種留学斡旋機関を利用するなどして各自で決定します。海外では、自分の意見や意志をはっきり相手に伝えるのが基本です。自分が行きたい留学先を自分で考え、選ぶことで、自主性や積極性も育まれます。

※制度利用には条件があります。

高校1年生 ターム語学研修

国際感覚を身につけること、英語力の向上を目的にしたオーストラリアへの研修制度です。滞在期間は高校1年生の3学期(1月中旬～3月下旬)で、教育水準の高い地域に点在する、5つの私立校のうちの1校に通学します。現地生徒と同じ学校生活を送るため、教科授業はもちろん、すべてのコミュニケーションを英語で行います。留学後は、遅れることなく高校2年生に進級することができます。昨年度からは、ニュージーランドとカナダも留学先に加わりました。

※制度利用には条件があります。

※行事の内容は学年や年度により異なります。

Student Voices

世界で学んだ「つながり」と「挑戦する勇気」

私はスイスとアメリカでの留学を通じ、多角的な視点と精神的な強さを養いました。スイスでは、生徒との寮生活や先生方との交流を通じ、「言語の重要性」「文化の多様性」「人とのつながり」を学びました。四カ国から集まった仲間との対話や共同生活は、背景の異なる他者と真摯に向き合う大切さを教えてくれました。一方、一年間のアメリカ留学では、未知の環境で自ら考え行動する「自立心」を磨きました。ホストファミリーとの旅行など温かい思い出を刻む傍ら、失敗を恐れず何事にもチャレンジする勇気を得たことは、大きな財産です。これらの経験は現在の高校生活に直結しており、日常生活で不自由のない英語力の獲得と、帰国後の英語成績の大幅な向上を実現しました。留学で培った発信力と語学力を武器に、日々の学業に自信を持って取り組んでいます。

高校3年生
留学先:アメリカ、スイス
留学期間:アメリカ1年間、スイス6週間



Student Voices

異なる文化と広がる視野

私は海外研修を通して、文化や生活の違いについて多くのことを学びました。マレーシアでは、農業見学や文化交流を通して、自然とともに暮らす人々の生活に触れることができました。現地の家に行き、ご飯の食べ方、家の作りなど日本との違いを体感しました。

一方、シンガポールでは高層ビルが立ち並ぶ都市の様子や、世界トップレベルの大学で行われている最先端の研究を見学し、経済や研究技術の発展を実感しました。また、現地の大学生との交流を通じて英語を学ぶこともできました。

国によって生活環境や経済発展が大きく異なることを実感し、国の文化や宗教などの価値観を理解することの大切さを学びました。この経験を今後の人生に生かしていきたいと思っています。

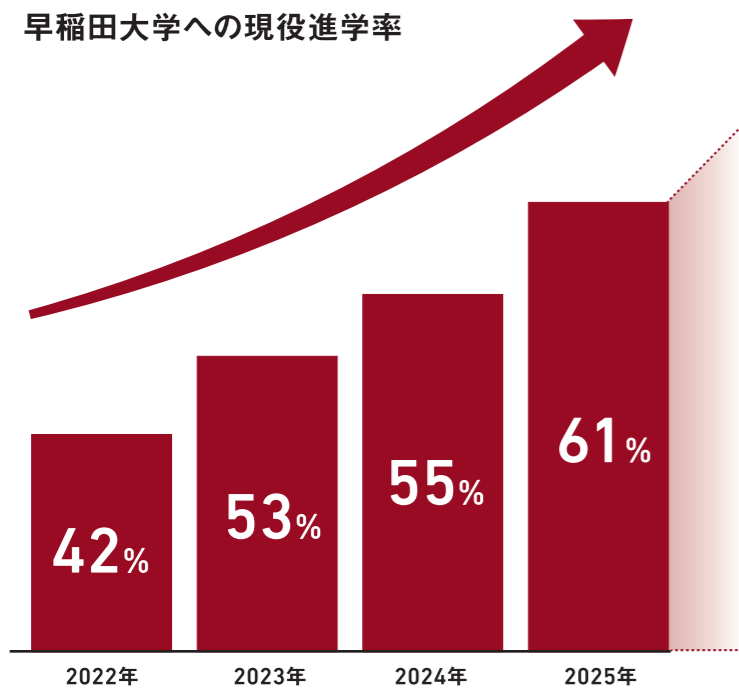
中学3年生
研修先:マレーシア、シンガポール
研修期間:1週間



2027年度卒業生より
早稲田大学
学校推薦型選抜試験の推薦枠

▶ 148名

早稲田大学への現役進学率



2025年度卒業生の進学先

卒業生の約6割以上は、現役で早稲田大学へ進学しています。

早稲田大学
学校推薦型選抜

127名

政治経済学部	9名
法学部	10名
教育学部	10名
商学部	10名
社会科学部	10名
国際教養学部	9名
文化構想学部	10名
文学部	10名
基幹理工学部	12名
創造理工学部	9名
先進理工学部	5名
人間科学部	13名
スポーツ科学部	10名

推薦条件を満たした生徒は、校内と大学の選考を経て早稲田大学へ進学することができます。



ニュージーランド国立大学初!
オタゴ大学への指定校推薦入試制度を導入

ニュージーランドの国立大学としては初の試みで、対象となる国内高校の3校のうちに早稲田佐賀高等学校が選ばれました。本制度は、単なる海外進出ではなく、オタゴ大学で学士号を取得することを目的としたプログラムです。1年目は英語と大学学習の基礎を習得し、2年目から4年目で専門分野の学士号取得を目指します。2025年4月からこの制度が導入され、グローバルな舞台で学びを深めたい生徒の進路選択の幅が広がりました。



大学合格実績

※国公立大、私立大、医学科合格状況は早稲田大学(推薦)の合格者を除いた生徒の実績です。

早稲田大学(推薦)

	2026	2025	2024
政治経済学部	9	8	8
法学部	10	10	7
教育学部	10	10	10
商学部	10	10	10
社会科学部	10	10	9
国際教養学部	9	9	10
文化構想学部	10	10	10
文学部	10	10	10
基幹理工学部	12	11	5
創造理工学部	9	8	5
先進理工学部	5	6	2
人間科学部	13	13	10
スポーツ科学部	10	10	10
計	127	125	106

国公立大学

	2026	2025	2024
九州大学	2	5(3)	4(1)
九州工業大学	1	1(1)	1(1)
福岡教育大学	1		
佐賀大学	2(1)	3	3(3)
長崎大学			2
熊本大学			1(1)
大分大学	1		
宮崎大学			1(1)
鹿児島大学	1(1)	1	2(1)
北海道大学	1	2(2)	
北海道教育大学	1		
弘前大学		1	
秋田大学		1	
東北大学	1(1)		
茨城大学			1(1)
筑波大学	1(1)		
東京大学		1	
東京科学大学	2(2)		
東京外国語大学			1
東京学芸大	1(1)		
千葉大学	1		
金沢大学		1	
京都大学	1(1)		
神戸大学			1(1)
高崎経済大学		1	
横浜市立大学			1
奈良県立医科大学		1	
九州歯科大学	1		
防衛大学校	1(1)	1(1)	1(1)

医学科 (左記国公立大合格者の内数)

	2026	2025	2024
佐賀大学	2(1)		1(1)
長崎大学			2
宮崎大学			1(1)
鹿児島大学	1(1)		
横浜市立大学			1
奈良県立医科大学		1	
岩手医科大学		1(1)	
国際医療福祉大学	1(1)		
愛知医科大学		1(1)	1(1)
藤田医科大学		1(1)	
金沢医科大学		1(1)	
関西医科大学		1(1)	
川崎医科大学		1	
産業医科大学		1(1)	
久留米大学	1(1)	3(3)	1
福岡大学	2(2)	2(2)	3(2)

※()は、内数で過年度生

	2026	2025	2024
卒業生数	211	224	202
早稲田大学推薦者数	127	125	106
一般受験生数	84	99	96

※()は、内数で過年度生

私立大学(一部抜粋)

	2026	2025	2024
青山学院大学	3(2)	7(1)	5(2)
慶應義塾大学	5(5)	4(3)	2(2)
国際基督教大学		1	2
上智大学	1(1)	4(1)	4(2)
中央大学	5(1)	2(1)	12(8)
東京理科大学	11(9)	5(3)	3
法政大学	8(4)	5(2)	10(7)
明治大学	12(12)	3(3)	3
立教大学	7(6)	5	5
早稲田大学(一般)	5(4)	1(1)	5(2)
同志社大学	2(1)	8(4)	6(4)
立命館大学	8(6)	11(7)	8(5)
関西大学	1(1)		3(2)
関西学院大学	5(4)	6(3)	7(3)

※()は、内数で過年度生

DXハイスクール

「DXハイスクール」は、文部科学省が推進する「高等学校DX加速化推進事業」の通称で、高校段階におけるデジタル分野の人材育成強化を目的とした事業です。ICTを活用した探究的な学びや、情報・数学などの教育を重視するカリキュラムの実施に必要な環境整備の経費が支援されます。本校は2年連続で高等学校等デジタル人材育成支援事業校(高等学校DX加速化推進事業)に選ばれました。

教育課程について詳しい情報はこちら



中学校



高等学校





WasedaSaga Medical WorkShop

本校では2018年度から医学部・薬学部・歯学部など医療系を目指す生徒を対象としたWasedaSaga Medical WorkShopを開催し、机上では得られない学びの機会を広げ、現場で働く人々の声を聞き、医療現場に身を置く責任や心構え、厳しさを体感することで、人間の命に向き合う覚悟を持ってもらいたいとの願いのもとワークショップを開催しています。

高1・2・3



大学模擬講義 学問を知り、将来を考える

自分の個性・能力・適性に合致する職業と、その道となり得る大学を選定する能力を育成することを目的とし、大学で学ぶテーマに触れることで知的好奇心を喚起し、職業意識や専門性などの意識啓発を行うための「大学模擬講義」を実施しています。さまざまな大学の先生方を本校に招聘し、大学で学ぶテーマに触れることでしっかりとした進路目的を確立させていきます。

中・高全学年



先取り実験実習

早稲田大学と連携し、早稲田大学理工学術院のエンジニアによる、科学的な意欲・関心を高める取り組みを行っています。

中3



「明日への扉」講演会

文理選択を目前にしている高校1年生を対象に、進路選択の意識高揚を目的とした講演会を実施しています。多くの分野で活躍される方を講師として招いています。

中高大連携事業 高1



早稲田大学模擬講義・学部説明会

早稲田大学全13学部の教授などが来校し、大学での学びや、その先の進路について本校の教室で話を聞くことができます。

中高大連携事業 高1・2



系属校高校生特別聴講制度

早稲田大学では、高校生の学問への関心や進路決定の手助けとなるように、大学の正規授業を開放する「高校生特別聴講制度」を設けています。この制度を活用することによって、知識を習得できるだけでなく、早稲田大学に入学後、入学学部の履修基準にしたがって単位認定されます。

中高大連携事業 高2・3

早稲田佐賀生の1日を紹介します!

Enjoy Every Hour!



早稲田佐賀生の1日の流れ

登校	～ 9:00
朝の時間	9:00 ～ 9:10
朝HR	9:10 ～ 9:15
1	9:20 ～ 10:05
2	10:15 ～ 11:00
3	11:10 ～ 11:55
4	12:05 ～ 12:50
昼休み	12:50 ～ 13:35
5	13:35 ～ 14:20
6	14:30 ～ 15:15
(7)	15:25 ～ 16:10
帰HR	16:15 ～ 16:20
清掃	16:20 ～ 16:30
部活動・各種活動	16:30 ～
中学生完全下校	～ 17:45
高校生完全下校	～ 18:45



朝の時間

9時から始まる朝学習では、国語・数学・英語の小テストなどが実施されます。また、毎週月曜日の1限にもテストが行われます。

お昼になるとラウンジにパン屋さんがやってくるよ!

毎日焼きたて! 生徒に大人気!



みんなであつまってランチ!

昼休み

生徒たちの憩いの時間である昼休みです。寮生と一部の自宅生は提供されるお弁当を、そのほかの自宅生は、持参したお弁当を食べます。



清掃

掃除当番が、各自の持ち場を心を込めてきれいにします。



School Store

制服や体操服の注文ができます。文房具や早稲田佐賀グッズなども置いてあります。



※2026年度の時制です(2027年度は変更になる可能性があります)

心の保健室(教育相談室)

学校生活を送っていると、風邪などの体調不良と同じように、心が不調になることも誰にでもあります。本校ではそのような時、通常の保健室と同じように気軽に利用でき、心を落ち着かせる場として「心の保健室(教育相談室)」を設置しています。学校心理士の資格を持つ教員が、生徒一人ひとりに寄り添い、日々の悩みや不安、心の揺れに丁寧に耳を傾けながら、安心して学校生活を送れるよう支援しています。



ボランティア活動

地域貢献活動の1つとして、虹の松原清掃や子ども食堂等のボランティア活動を実施しています。また、唐津くんちでは地元の唐津ボランティアガイドの皆さまと協力し、来場者の案内や外国人観光客への英語での対応など、さまざまな場面で貢献しています。地域の方との交流を深め、ボランティア活動の大切さを学ぶ良い機会となります。



全力で打ち込める中学校生活

親元を離れて佐賀という地で始まった学校生活。慣れない環境に当初は不安でした。しかし実際には全国各地から集った多様な価値観を持つ仲間たちと充実した学校生活を送れています。そういった仲間たちと部活動などを行い、共に高め合っていくことで、自分の可能性がさらに広がっていくのを実感しています。学習面では自主的に、かつ計画的に行うことを心がけています。自分で考え、実行する力がついたことで、勉強だけでなく部活動や学校行事にも全力で取り組めるようになりました。また、学習を進めていく中でわからない点などがあれば、先生方がいつでもサポートしてくれます。これからも文武両道に努め、自己成長に繋げていきたいです。

中学3年生(東京都出身)



仲間が隣にいること

早稲田佐賀で学ぶことは知識ではありません。早稲田大学系属校との交流会や起業家教育プログラム、ワセクエなど様々なプログラムが用意されています。生徒会活動では生徒会執行部を中心とした活動が行われ、学校生活をより良くするための企画・運営を行っています。私は生徒会活動に参加していますが、先輩方や仲間たちから学ぶことが多く、常に頼れる友人や仲間恵まれて充実した日々を送っています。寮生活では学習・食を友人と共にし、スタッフの方々のサポートを受けながら寮生活ならではの思い出を作ることが出来ます。早稲田佐賀の建学の精神のもと、有意義な学校生活を送っています。グローバルリーダーになるべく努力を重ねます。

高校2年生(佐賀県出身)



広がる可能性と挑戦

早稲田佐賀の魅力は、様々な経験ができることだと思います。寮生活には最初不安もありましたが、全国各地から集まった友達と日々を過ごすことはとても有意義な経験だと今は感じています。授業では、先生方が丁寧に指導してくださり、日々自分の成長を実感できます。学校行事も充実しており、体育祭や文化祭、行き先を自分で決める修学旅行、唐津を感じる体験プログラムなどがあります。さらに、早稲田佐賀はグローバルリーダーの育成にも力を入れていて、夏休みには複数の海外研修コースが用意されており、私も参加して新しい刺激を受けました。これからも早稲田佐賀で多くのことに挑戦しながら、自分の可能性を広げていきたいです。

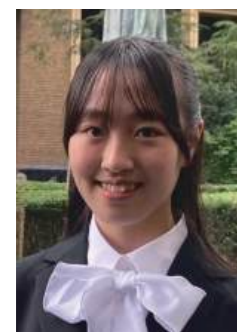
中学3年生(福岡県出身)



多様な環境の中での成長

早稲田佐賀には、全国各地や海外など、多くの地域から生徒が集まるため、日々の学校生活の中で、さまざまな価値観や文化に触れることができます。実際に友人と話す中で、自分にはなかった考え方に気づくことも多く、いい刺激になっています。私も、このような環境の中で、部活動や学業に一生懸命に取り組みつ、早稲田佐賀ならではの学校行事を全力で楽しみ、忙しく楽しい充実した学校生活を送っています。また、先生方からは、学業面はもちろんのこと、これからの人生を生きていく上で大切な、教養や心構えを学ぶことができます。私も、この早稲田佐賀という環境で、自分をもっと成長させていきたいです。

高校2年生(福岡県出身)



早稲田佐賀だからこそ送れた3年間

入学当初は住み慣れない土地での寮生活に大きな不安を抱えていましたが、実際に始めてみると毎日非常に楽しく、自分のことは自分で行う自立心が養われ、人間として大きく成長できました。部活動では三年間弓道部に所属し、日々の練習で互いを高め合う中で、かけがえのない仲間を得ることができました。本校では勉強と両立しながら、部活に打ち込める環境が整っています。また、多様な背景を持つ生徒が集まる本校では、友人から未知の世界を教わる機会も多く、自分の視野が広がるのを実感しました。皆さんも、豊かな自然に囲まれた早稲田佐賀で、充実した最高の学生生活を送ってください。

早稲田大学法学部
佐藤 麻里那さん
(2025年度卒業) [高校入学生]



早稲田佐賀で見つけた、私の将来

私は岐阜県出身で中学生から寮生活を送っていました。中学では、吹奏楽部に所属し、コンテストで金賞を目指し、仲間と切磋琢磨しながら過ごしました。高校では、医療課題解決プログラムに参加し全国大会に出場したり、ボランティア活動に参加したりしました。その中で医療に関心をもち、医学科を目指すことになりました。進路指導においても、担任の先生をはじめとした多くの先生に相談、面接・小論文対策などをいただき、感謝しています。早稲田佐賀の様々なことにチャレンジできる校風のおかげで、自分のやりたいことが見つけれられたのだと思っています。

佐賀大学医学部医学科
市原 百菜さん
(2025年度卒業) [中学校入学生]



北海道大学総合理系
細西 涼介さん
(2025年度卒業) [中学校入学生]

人に恵まれた6年間

私は中高合わせて6年間片道2時間かけて早稲田佐賀に通っていました。通学にこんなに時間がかかるにも関わらず私が早稲田佐賀に通い続けていたのは、この学校には他の学校にはない魅力があると感じていたからです。まず、早稲田佐賀には素晴らしい先生方がいます。生徒一人ひとりに目を配っていて、私が困ったときは支えてくださいました。受験期には、先生方が厳選された問題を解き続けたおかげで、学力が上がったと思います。また、全国から集まる個性豊かな生徒や生徒主体の学校行事も魅力です。互いの個性を尊重しつつ一致団結する体育祭や文化祭は他の学校では味わえない楽しさがあると思います。私は早稲田佐賀でいい人たちに恵まれたおかげで充実した6年を送れたと思っています。



株式会社サガテレビ
鈴木 悠斗さん
(2020年度卒業) [中学校入学生]

中高の6年間が支える“今の自分”

全国各地から集まった仲間との共同生活を通して、異なる価値観に触れ、自分の視野が広がりました。また、多様な考え方に触れる中で、互いを理解し合い、柔軟な思考を身につけてきました。部活動においても、常にライバルがそばにいる環境の中で刺激を受けながら切磋琢磨を重ね、自身の課題と向き合い続けてきました。こうした恵まれた環境の中で過ごした中高の6年間が、今の自分の基盤となっています。現在はアナウンサーとして、早稲田佐賀での経験を活かし、相手の思いを引き出し、分かりやすく伝えることを大切にしています。



中学校

高等学校

運動部

- 野球部(軟式)
- 競走部
- サッカー部
- バスケットボール部(男子)
- 剣道部
- 応援部(チアリーディング)
- 弓道部

運動部

- 野球部(硬式)
- 競走部
- テニス部
- サッカー部
- バスケットボール部
- ラグビー部
- 剣道部
- 応援部(チアリーディング)
- 弓道部

文化部

- 吹奏楽部
- 美術部
- 書道部
- 放送部
- サイエンス部
- 写真部
- ESS部

文化部

- 吹奏楽部
- 美術部
- 書道部
- 放送部
- サイエンス部
- 写真部
- ESS部

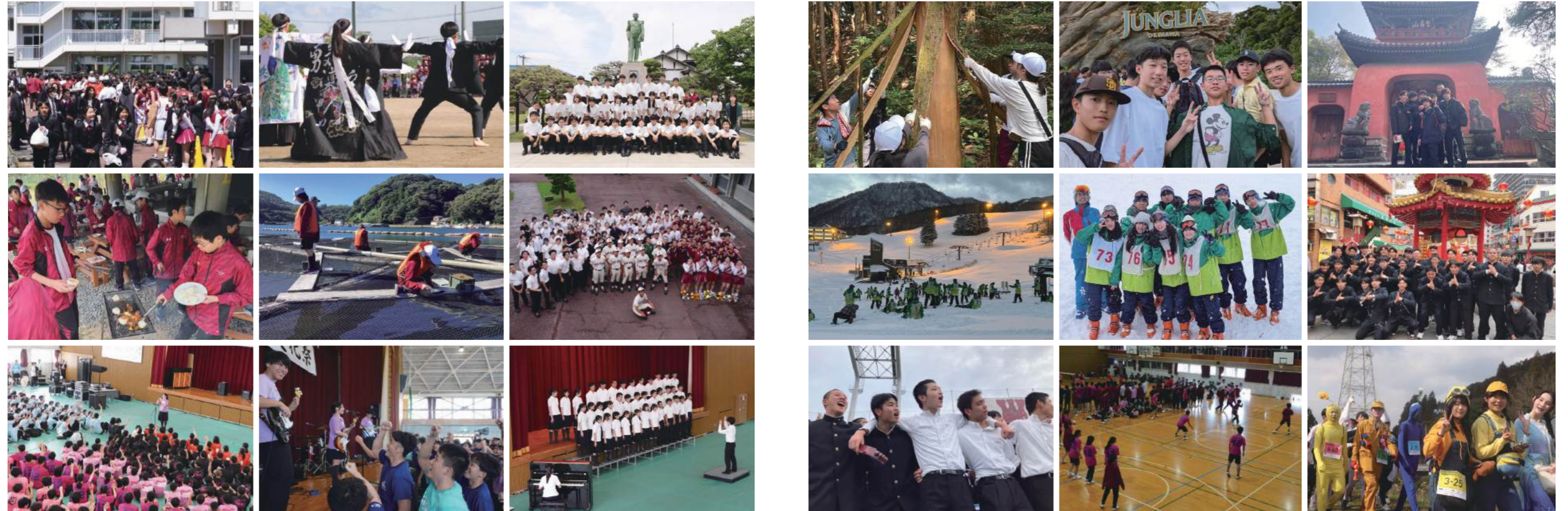
サークル

- 茶道サークル
茶道を通して、日本の伝統文化と共に、礼儀作法を身に着ける
- 広報サークル
学校広報のサポート・学校行事の動画制作
- サスティナ部
「楽しみながらSDGs」をテーマに活動



本気になれる早稲田佐賀の青春。

早稲田佐賀には数多くの行事があります。
 学習や将来の目標をより明確にできるだけでなく、
 生徒同士が協力し合い親交も深めることができます。



- 1学期始業式 ● 入学式 ● 体育祭
- 新入生研修 **高1**
- 佐賀大自然プログラム(新入生宿泊研修) **中1**

- 後援会総会 ● 授業参観
- 大隈重信ゆかりの地探訪 **中1**
- 大隈重信ゆかりの地探訪/校外研修 **高1**
- 合唱コンクール

- 唐津フィールドワーク **中1**
- 佐賀県高校総体 **高1・2・3**
- 第1回定期考査

- 中体連 **中1・2・3**
- 海外研修旅行(希望者)
- 早稲田大学 模擬講義・学部説明会 **高1・2**
- 三者面談・1学期終業式

- 2学期始業式

- 文化祭
- 第2回定期考査
- 干潟体験 **中2**

- 大隈記念講演会
- 大学模擬講義 **高1・2**
- 修学旅行 **中3** ● 唐津体験プログラム **中1**

- 東京研修 **高1**
- フロントアセミナー **中1・2・3**
- 第3回定期考査
- 唐津くんち清掃ボランティア **中1・2・3**

- 修学旅行 **高2**
- 三者面談(希望者)
- 2学期終業式

- 3学期始業式
- 大学入学共通テスト **高3**
- タム語学研修(希望者) **高1**

- 探究発表会 **中1・2・3** ● 卒業式
- クラスマッチ **高1・2**
- クリーンアップin虹の松原 **中1・2・3 高2**
- 3学期終業式
- 大隈重信100年ハイク **高1**
- 民泊体験(希望者) **中1・2・3**

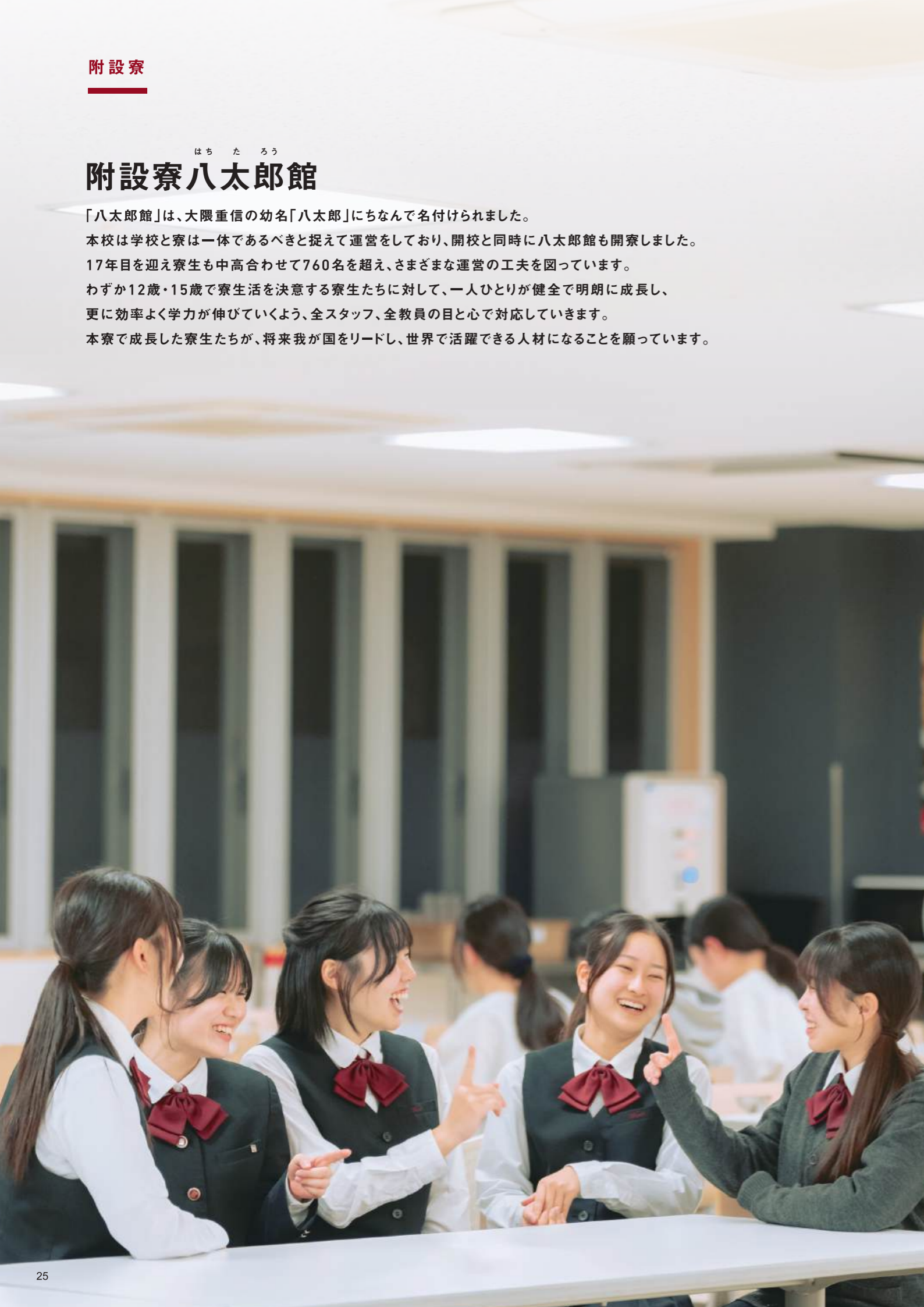
- 第4回定期考査



※上記は例年のもので、2027年度は変更になる場合があります。※ワセキエは希望制で適宜実施しています。

はち た ろう
附設寮八太郎館

「八太郎館」は、大隈重信の幼名「八太郎」にちなんで名付けられました。
 本校は学校と寮は一体であるべきと捉えて運営をしており、開校と同時に八太郎館も開寮しました。
 17年目を迎え寮生も中高合わせて760名を超え、さまざまな運営の工夫を図っています。
 わずか12歳・15歳で寮生活を決意する寮生たちに対して、一人ひとりが健全で明朗に成長し、
 更に効率よく学力が伸びていこう、全スタッフ、全教員の目と心で対応していきます。
 本寮で成長した寮生たちが、将来我が国をリードし、世界で活躍できる人材になることを願っています。



学習

生徒の本分は「学ぶこと」です。八太郎館では、自学自習を原則とし、日々計画的、主体的に取り組むよう指導しています。そのためには、今日自分は何をどこまで、どれだけこなさなければならないかを冷静に分析して、計画を立てることから始まります。学校や学習塾のように、予め決まっていた内容を、誰かが事前に用意しているような環境はここにはありません。また、それぞれの教科から出される課題を消化するだけでなく、授業と課題を結びつけて自主的に吸収し、定着させていく必要があります。学習室では指定されたブースがありますが、教材が常に整理整頓され、集中できる環境を保つことも勉強の一部です。つまり、自己管理能力が大切だということです。その環境の中で集中して学習に取り組んでいけば、必ず成果が上がるでしょう。



個室学習

高校2年生からは個室となり、学習は各自の居室に行います。大学進学へ向けての高校学習内容は、じっくりと考え深く追究する姿勢が必要となります。落ち着いた空間の中で確保された学習時間は、本校生徒にとって必要不可欠なものとなっています。

食事

山海の幸に恵まれた、地元唐津産の新鮮な食材も利用し、安全で美味しい食事を一人ひとりに提供しています。日々の食事の大切さに興味を持って美味しく食事してもらうために、ハロウィン、クリスマス、バレンタインデーやホワイトデーなどイベントでの特別メニューをはじめ、食育講座などのイベント開催や毎月の食記念日にまつわるメニューを提供しています。また、食堂では寮生からアンケートを取り、人気投票によってメインメニューを決定するなど、大切な食事の時間をもっと楽しんでもらえるよう、サービスの改善にも積極的に取り組んでいます。体調不良の際には、代替食(うどん・おかゆ)を提供し、成長過程にある寮生たちの「食」を全力でサポートします。



ランチボックス

栄養バランスが整ったメニューで、ボリュームもたっぷり!

寮生の昼食は、寮のキッチンで調理されたものが学校に届けられます。毎日バラエティに富んだお弁当です。また、自宅通学生も申し込み利用できます。



新入生歓迎 特別メニュー

献立について

寮生が楽しみにしている献立表。管理栄養士による栄養バランスとカロリーが計算されたメニューが自慢です。日々3食の献立表は、毎月Classiで各家庭にもお知らせします。

※個別のアレルギー対応や成分表示はしておりません。



充実した施設が 日々の生活を バックアップ。

寮生の一日は、館内に響き渡る明るいあいさつとともにスタートします。学年毎に人員確認と健康チェックを点呼で行い、朝食を摂ります。日々決められたスケジュールのもと、決められたルールの中で生活することは、はじめはとても窮屈さを感じるかもしれませんが、また寮生活に身を置くということは、プライバシーが少なくなることであります。敢えてその環境を選択することで、寮生同士を思いやる心が萌芽し、連帯意識が生まれたり、学力向上の相乗効果も期待できるでしょう。この寮を巣立った卒業生たちは異口同音に寮生活を体験して本当に良かった、と語っています。



4人部屋(男女共通仕様)



集団学習室

ラウンジ



個室(男女共通仕様)



食堂



浴室



シャワールーム



ランドリー室

QRコードを読み込むと、360度の映像で施設をご覧ください。

4人部屋



男女共通仕様 女子仕様

個室



男女共通仕様 女子仕様

浴室



浴室(男子) 脱衣所(男子)

食堂



Security

万全なセキュリティ対策で、「安全」を約束します。

八太郎館では、760名を越える中高生が非常に広い空間の中で生活しています。そのため、夜間はガードマン2名体制で警備しています。また、生活時間帯は男性、女性の寮主任教員も寮内巡回をし、寮生たちの様子を観察・指導しています。さらに、男性2名、女性1名の教員が宿泊し、緊急の事態に対応できるようにしています。何より寮長・寮母とスタッフは、常に明るく優しく愛情をもって寮生とのコミュニケーションを図るなど、寮生の生活をサポート。急病時にはスタッフが病院へ搬送します。

保護者向け情報発信



本校が導入している教育プラットフォーム「Classi」を活用し、毎月の献立表や、お知らせ、寮生の様子、寮の行事のオンラインアルバム等が閲覧できます。遠く離れた保護者の方の多くがClassiを開いて、寮からの情報を楽しみにされています。



24時間館内外の安全確認。



全員システムカードキーを携帯し、部外者は入館できません。

スタッフメッセージはこちら



Events at Hachitaro-kan

イベント

八太郎館では、年間を通してさまざまなイベントを計画しています。そのほとんどが寮の生徒会「八太郎会」のメンバーによって運営されています。



キャリア学習会in八太郎館

1~2ヶ月に1回、卒業生による学部説明や職業説明を実施しています。夜の時間にオンラインで実施するため、寮生だけでなく自宅生も参加することができます。大学の学びを尋ねたり、就職活動の様子や実際の職業の内容を聞いたりできるため、貴重な学びの場になっています。

これまでの主な講演者

- ・早稲田大学法学部卒業 弁護士
- ・早稲田大学商学部卒業 公認会計士
- ・早稲田大学国際教養学部卒業 編集者
- ・早稲田大学創造理工学部建築学科卒業 建築士 など

イベント年間カレンダー(予定) (※)は希望者のみ参加

- 4月 ●入寮オリエンテーション
- 5月 ●BBQ体験(※) ●棚田鑑賞(※) ●ミュージカル鑑賞(※) ●朝散歩
- 6月 ●ホテル観賞会(※)
幻想的なホテルの光をこれからも守っていくために、自然を守る意識を持ってもらいたいと願う企画です。
- 7月 ●夏まつり
夏休みを目前に控えた休日、女子は浴衣姿になって夏のひとときを楽しみます。初めての体験で感激する生徒も多い大人気のイベントです。
●サッカー観戦(※) ●花火鑑賞(※)
- 9月 ●野球観戦(※)
- 10月 ●溪流釣り体験(※)
- 11月 ●バスハイク(※) ●唐津くんち清掃ボランティア ●大相撲観戦(※)
- 12月 ●八太郎祭
年末に行われる餅つき大会とクリスマス会のイベントです。餅つき、ビンゴ、レクリエーションをみんなで楽しみ、つきたてのお餅を味わえる大人気のイベントです。
●ミュージカル鑑賞(※) ●星空(流星群)鑑賞会(※)
- 1月
- 2月 ●卒寮パーティ ●いちご狩り(※)
- 3月 ●民泊体験(※)
海・山・川・棚田など自然の名所がたくさんある唐津。日頃の生活では、なかなか触れることのできない「唐津の魅力」を民泊を通して、体験できる機会となっています。釣りをしたり、魚を捌いたり、そのほか日頃できない貴重な体験を民泊先の方のご協力のもと体験できます。
●バレーボール観戦(※)
- 通年 ●西の浜瞑想体験(※)



※2027年度は変更になる可能性があります。



寮主任からのメッセージ

2つの財産

私自身が寮生として早稲田佐賀を卒業した体験と、その後母校の教員となり巣立っていく寮生を見て感じることは、八太郎館での寮生活では、2つの財産を得ることができるということです。

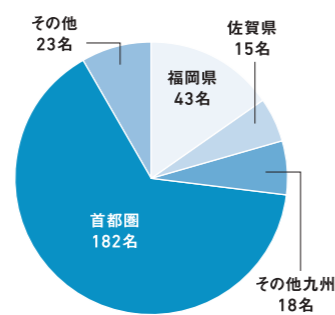
1つ目は、『生活習慣』です。寮での生活を通して、自己管理・自立の習慣を身につけることができます。

2つ目は、『一生の友』です。八太郎館での苦楽をともにした友人たちは、社会人になったいまでも連絡を取り合う一生の財産です。

2つの財産は、八太郎館で過ごした時間があってこそ得ることができたものです。八太郎館での生活を通して、みなさんにも2つの財産を手に入れてほしいと願っています。

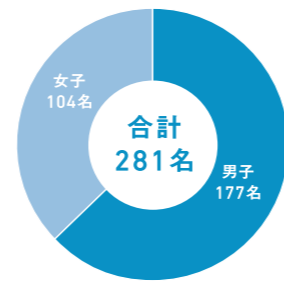


中学生 エリア別寮生出身地

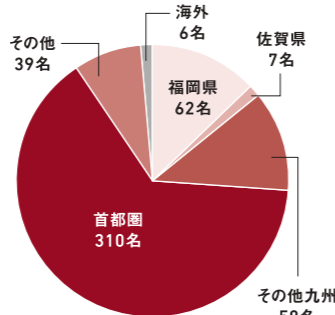


中学生 寮生構成

【男女】1年生:93名/2年生:109名/3年生:79名

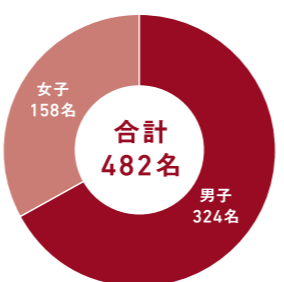


高校生 エリア別寮生出身地



高校生 寮生構成

【男女】1年生:182名/2年生:170名/3年生:130名



※情報は、2026年5月現在のものです。

中學生日課表

日課	1年	2年	3年
朝学習(希望)		5:30~	
起床		7:00	
朝点呼	7:30		7:10
朝食	7:30~8:10		7:00~7:40
登校完了		8:40	
平日:学校/休日:自由時間			
門限		18:20	
入浴		16:20~19:25	
食事		17:30~19:10	
全体学習①		19:30~21:00	
リフレッシュタイム		21:00~21:30	
携帯預り		21:30	
全体学習②		21:35~22:30	
延長学習		—	
消灯		22:45	

Junior High School Student Life

寮生活で気づいた自分

私は中学1年生から入寮して1年が経ちました。実感したことは、寮に入ることによって自分を客観的に見ることができたことです。自分で物事を選択する機会が増えたことで、今まで気づかなかった自分の性格や価値観が見えてきました。私はそれを受け入れながら、会話の中で少し意識することで信頼関係を築くきっかけにすることができました。ぜひ八太郎館に来てくれると嬉しいです。

中学2年生
東京都出身



高學生日課表

日課	1年	2年	3年	強化部
朝学習(希望)		5:30~		
起床		6:50		6:30
朝点呼	7:10		6:55	
朝食	7:00~7:40	6:30~7:10		6:30~7:10
登校完了		8:30		
平日:学校/休日:自由時間				
門限		19:00		20:00
入浴		16:20~20:25		20:00~20:55
食事		17:30~20:10		20:00~20:40
全体学習①		20:30~21:15		21:00~22:00
リフレッシュタイム		21:15~21:45		22:00~22:15
携帯預り		21:45		22:15
全体学習②		21:50~22:50		22:15~22:50
延長学習		23:55まで		
消灯		23:00		

High School Student Life

心の友との生活

私は、高校1年生からこの八太郎館に入寮し、1年が経ちました。私は寮生活の中で、人間関係の難しさを知ると同時に、会話することの大切さを学びました。4人部屋のメンバーと初めは考えが合わないということもありましたが、様々なことを話す中で、段々と打ち解け、次第に良い関係を築くことができました。親元を離れ、不慣れな生活に心が苦しくなることがありました。そんな時、私の心を楽にしたのは、寝食を共にする仲間がいることでした。寮生活では、教室では学べない大切な「何か」を学ぶことができます。八太郎館で待っています。

高校2年生
福岡県出身



早稲田佐賀が目指す教育の在り方

早稲田佐賀中学校・高等学校は「学問の独立」「進取の精神」「地球市民の育成」という3つの建学の精神を掲げ、中高一貫校として2010年に佐賀県唐津市に誕生しました。唐津藩最後の藩主であった小笠原長国が新時代に活躍する人材を育成するために1871年に開設した英学校「耐恒寮」の跡地にあり、玄界灘を望む唐津城、その東西に広がる日本三大松原の一つでもある虹の松原など多くの自然や文化と歴史に包まれた唐津の地で、全国各地から集まった仲間たちが日々学校生活を謳歌しています。本校は早稲田大学の系属校でもありますので、大学が掲げる理念の一つである「世界で輝くWASEDA」を基に、確かな学力と豊かな人間性を兼ね備えたグローバルリーダーの育成を教育目標に掲げています。早稲田大学創設者大隈重信の原点である九州・佐賀の地で「早稲田だからこそ学べるもの」「佐賀だから体験できること」を実施し、本校独自の「早稲田スピリット」が培われ、あらゆる場面で活躍できる人材を育てるべく質の高い教育を実現して参ります。

早稲田佐賀中学校・高等学校
校長

迎 佳和

未来、そして世界を見ていた大隈重信

早稲田大学創設者である大隈重信は、明治の激動期に持ち前の先見性と構想力、そして実行力で日本の近代化を牽引しました。

時代に新しい価値を生み出し続けたその志と信念は今に続いています。

生誕地・佐賀で学ぶ誇りを胸に

明治政府の中核を担う人物の一人として、リーダーシップを発揮しつづけてきた大隈。青年期を過ごしたのは、日本の近代化をリードした幕末維新期の佐賀です。その頃から世界を見ており、公用語としての英語の重要性を認識し、藩に建言して英学塾を創設しています。早稲田大学の校風である「進取の精神」は、大隈の生き様そのものであり、現代に受け継がれる早稲田スピリットといえるでしょう。

演説の名手としても知られる大隈は、若者に向けて数々のメッセージを残しています。東京専門学校の卒業式における演説の一説では、「所で此複雑なる社会の大洋に於て航海の羅針盤は何であるか、学問だ」と述べています。学問を「航海の羅針盤」とすることで、失敗にくじけず人生に打ち勝ってほしいというメッセージは、今の私たちの心にも響きます。大隈重信の原点である九州・佐賀の地で学ぶ誇りを胸に、グローバルな視野を持つ人間力をここ早稲田佐賀で磨いていきましょう。

現代の暮らしにつながる改革を次々と

総理大臣をはじめ数々の要職を務めた政治家であり、早稲田大学の創設者でもある大隈重信。実はそれだけでなく、現代の暮らしにつながるさまざまな功績を残しています。

2020年には、東京都港区で日本初の鉄道遺構「高輪築堤」が発見されたことで、日本の鉄道開通に尽力した一人として再注目。「陸蒸気(おかしょうき)を海に通せ!」という大隈の英断があったからこそ、堤防を築いて線路を通すことができたのです。

明治政府が貨幣制度の改革に乗り出した際には、その中心メンバーとなって「円」の誕生に大きく関与。近代日本経済の父と呼ばれた渋沢栄一を大蔵省の役人に導いたのも大隈でした。他にも、欧米の曆とあわせるために太陰曆から太陽曆に改曆し、明治41年にはアメリカ大リーグ選抜チームと早稲田大学野球部との試合で投手役を務め、日本初の始球式を行いました。

学問の独立で多様な人材を育成

新しい国づくりでは近代的な教育が必要だと考え、大隈は明治15年に早稲田大学の前身である東京専門学校を設立。「学問の独立」を謳い、政治家である自分の存在が学校経営に支障をきたさないよう、創立15周年の祝典まで公式行事には一切参加しませんでした。

早稲田大学のみならず民間教育に力を注ぎ、同志社大学の設立では寄付金を出して協力し、日本女子大学の創立・経営を支援するなど女子教育にも熱心でした。政治家としての枠にとどまらず、さまざまな教育・文化事業に取り組むことで多様な人材を育てたのです。

耐恒寮から時を超えて受け継がれる学びの絆

佐賀は早稲田大学の創設者大隈重信の生誕の地として知られていますが、九州・唐津と早稲田大学を結ぶもうひとつの物語があります。明治初年、唐津藩は新しい時代を担う人材を育成するため唐津城内に耐恒寮と呼ばれる唐津藩の英学校を開校。ここに英語教師として招かれたのが、アメリカでの困難を経て、やがて日銀総裁や内閣総理大臣を務めるなど、その波瀾万丈の人生と魅力あふれる人間性で今なお語り継がれる高橋是清です。そして、耐恒寮で学んだ生徒のひとり、早稲田大学第二代会長、天野為之です。天野は優れた経済学者であり、また教育者として創成期の早稲田大学の礎を築きました。天野はこの間に、早稲田実業学校を開校し校長も務めました。現在の早稲田佐賀中学校・高等学校の体育館の位置にあった耐恒寮からは、天野為之をはじめ、辰野金吾(建築家)や吉原政道(鉱業家)、掛下重次郎(大審院判事)など、後の日本をリードする若者たちが数多く巣立っていきました。玄界灘のやさしい潮風に吹かれながら、若者たちは昔も今もここで学び、夢を描き、そして世界へと大きく羽ばたいていきます。



たかはし これきよ
高橋 是清



あまの ためゆき
天野 為之

学費等情報				
中学校				
学費 参考:2026年度 ※単位:円				
	授業料	施設設備費等	教育充実費	合計
前期	262,200	153,000	55,000	470,200
後期	262,200	153,000	—	415,200
計	524,400	306,000	55,000	885,400
<small>※上記の経費以外に制服・体操服代等及び諸費(約6万円)、生徒会費、部活振興費、後援会費が必要となります。 ※入学手続き時に入学金が必要となります。(参考:2026年度 11万円) ※2027年度から学費・寮費等が改定予定ですので、募集要項でご確認下さい。</small>				
寮費 (2026年度) ※単位:円				生徒寄付金 (入学後)
入寮費	寮費(中学4人部屋)	食費	八太郎会費	1口 100,000円
入寮時 150,000	年額 504,000	年額 555,500	年額 5,000	2口以上(任意)

高等学校				
学費 参考:2026年度 ※単位:円				
	授業料	施設設備費等	教育充実費	合計
前期	262,200	153,000	55,000	470,200
後期	262,200	153,000	—	415,200
計	524,400	306,000	55,000	885,400
<small>※上記の経費以外に制服・体操服代等及び諸費(約5万円)、研修費等の実費(約10万円)、生徒会費、部活振興費、後援会費が必要となります。 ※入学手続き時に入学金が必要となります。(参考:2026年度 11万円) ※2027年度から学費・寮費等が改定予定ですので、募集要項でご確認下さい。</small>				
寮費 (2026年度) ※単位:円				生徒寄付金 (入学後)
入寮費	寮費(高校4人部屋)	食費	八太郎会費	1口 100,000円
入寮時 150,000	年額 474,000	年額 555,500	年額 5,000	1口以上(任意)
高等学校等就学支援金について 令和8年度(2026年度)から、高校生の授業料支援制度である「高等学校等就学支援金」の対象範囲が拡大されました。 申請のうえ、日本国内に住所を有していることや、国籍・在留資格等の要件を満たし、受給資格の認定を受けた場合、授業料に対して高等学校等就学支援金が支給されます。 【支援額の例(年間支給上限額)】 私立高校(全日制等):45万7,200円				

早稲田大学進学時の奨学制度

大学入学前に申し込む首都圏以外の受験生のための奨学金^{注1}
めざせ! 都の西北奨学金

注1:本校の生徒は、学校の所在地、世帯収入以外の条件があります。

支給額 **450,000円～700,000円**

○2021年度から本校は「めざせ!都の西北奨学金」の対象校となりました。
 ○詳しい申請資格は、募集要項で確認してください。募集要項は、7月以降に大学ならびに奨学課のホームページに掲載されます。

<https://www.waseda.jp/inst/scholarship/>

- | 学校についてのQ&A | 附設寮に関するQ&A |
|---|---|
| <p>Q. 早稲田大学への推薦枠148名は、成績上位148名だけを推薦するというのですか?</p> <p>A. 早稲田大学への推薦については、学力を基本的に総合的に判断して行いますので、成績上位148名ということではありません。
 なお、本校には、医学部・歯学部・薬学部・農学部など早稲田大学にはない学部・学科を希望している生徒も多くいます。
 したがって、学力向上面での教育としては、「難関国公立大学や医学部などに合格できる学力、実力で早稲田大学に合格できる学力」を身につけさせることを目標に置き、それを可能にするカリキュラムを準備しています。</p> | <p>Q. どのような生徒が寮生活に向いていますか?</p> <p>A. 言うまでもなく寮生活は集団生活です。家庭に比べハード面・ソフト面で何かと制約のある環境ですが、そのことに対する生徒及び保護者双方の理解がないとうまくいきません。中学1年生から高校1年生までは4人部屋です。そういった中で、寮の規則を守る、勉強・食事・清掃・お金や携帯電話の管理・書類の手続きなど自分のことは自分で正しくでき、自ら挨拶をして円滑に対人関係を構築することができる、最低限の生活能力がある、先生や友人に言いたいことは自分の言葉で伝えることができるかなどお子さまの適性を十分に見極めて、適切に判断してください。</p> |
| <p>Q. 携帯電話の学校への持ち込みはできますか?</p> <p>A. 自宅通学生に関しては、持ち込みを許可します。ただし、学校内では電源を切ってもらいます。学校内での使用は認めません。</p> | <p>Q. 土日や長期休暇中の帰省はどうなっていますか? 自宅が遠方の場合、迎えに行く必要はありますか?</p> <p>A. 翌日が休日であれば原則としてその前日に帰省することは自由です。一方、夏季・冬季・春季には閉寮期間がありますので、部活動などの例外を除き必ず帰省することになっています。自宅が遠方の生徒も多数いますので、中学生のうちから友人たちと連れだって、自分たちだけで往復していることも多いようです。</p> |
| <p>Q. 保護者は年間に何回くらい学校(唐津)に行く必要がありますか?</p> <p>A. 必ずお越しいただくのは、7月に行われる三者面談の1回のみです。12月の三者面談は希望制となります。
 その他、ご来校の機会として学年保護者会(高校9月、中学11月・3月)、体育祭(4月)、後援会総会・授業参観(5月)、文化祭(9月)などがありますが、いずれも任意での来校になります。</p> | <p>Q. 携帯電話の持ち込みはできますか?</p> <p>A. 携帯電話はフィルタリングをかけることを条件に許可しています。2025年度より、中学1年生から高校3年生までの全学年でスマートフォン持ち込みの許可をしています。携帯電話につきましては、「夜間預かり」をはじめとしたいくつかのルールがあり、それに違反したときは持ち込みの許可を取り消すなどの指導を行うこともあります。</p> |
| <p>Q. 留学制度はありますか?</p> <p>A. 一定の成績・条件を満たせば、高校1年の3学期にオーストラリア、ニュージーランド、カナダにターム語学研修(1月中旬から3月末)をすることができます。その他、中・高ともに進級留学制度などもあります(P.13)</p> | <p>Q. 病気やけがの場合にはどのように対応していますか?</p> <p>A. 寮の近くには済生会病院や唐津赤十字病院などの救急指定病院もありますが、それ以外にも内科、外科、眼科、皮膚科、耳鼻科、歯科などたくさんのクリニックがあります。
 通常はまず寮のスタッフが学校医の病院に連れて行き、その後医師の指示に従って寮内で休養させるなど様子を見ます。食事も病人用の食事を準備してもらいます。また、インフルエンザなどの感染症に罹った場合には、保護者に迎えに来ていただくことが基本ですが、自宅が遠方の場合には寮内の個室に隔離して看病します。
 薬については、寮の方からの提供はできませんので、各自で準備・自己管理をしてもらいます。</p> |
| <p>Q. 専願入試はありますか?</p> <p>A. 中高共に実施しています。専願が併願を選択して出願してください。なお、高校の推薦入試はすべて専願です。</p> | <p>Q. 習い事を続けることはできますか?</p> <p>A. 門限時刻は中学生18:20、高校生19:00です。それまでに、帰寮できるのであれば可能です。実際に、土曜日、日曜日を利用して習い事(通塾)している生徒はいます。高校生は、通塾のために門限の変更を許可する場合があります。ただし、帰寮時刻によっては、食事が用意できません。</p> |
| <p>Q. 他私立学校や公立学校との併願はできますか?</p> <p>A. 中学校・高校とも、本校を併願で出願された場合は他の学校と併願可能です。専願受験者は、他校を受験することは可能ですが、本校に合格した場合は必ず入学して頂きます。</p> | <p>Q. 習い事を続けることはできますか?</p> <p>A. 門限時刻は中学生18:20、高校生19:00です。それまでに、帰寮できるのであれば可能です。実際に、土曜日、日曜日を利用して習い事(通塾)している生徒はいます。高校生は、通塾のために門限の変更を許可する場合があります。ただし、帰寮時刻によっては、食事が用意できません。</p> |
| <p>Q. 特待制度や奨学金制度はありますか?</p> <p>A. 中学は12月・1月入試、高校は1月入試での成績優秀者を特別奨学生として合格発表しています。また、高校には、成績優秀者のうち本校へ進学後経済的な理由で在学困難な生徒を対象とした天野為之記念奨学金制度もあります。本校独自の奨学制度以外の奨学金の募集があった場合は、その都度ご案内します。</p> | <p>Q. 転入・編入試験の予定はありますか?</p> <p>A. 転入学試験を実施する際には、本校ウェブサイトでお知らせいたします。</p> |
| <p>Q. 転入・編入試験の予定はありますか?</p> <p>A. 転入学試験を実施する際には、本校ウェブサイトでお知らせいたします。</p> | <p>その他のQ&AにつきましてはWEBサイトでご確認ください</p> |





福岡市からも 佐賀市からもアクセス可 本校の約4割が自宅通学生。

福岡市は九州のみならず近年アジアの玄関口として大きな発展を遂げています。
その中心地である博多・天神より公共交通機関の利用で約80分で本校に通学できます。
九州大学も移転して急速な発展を見せている福岡市西部地区のすぐ隣です。



※1. 高校生は唐津駅から本校までの自転車利用が可能です。 ※2. 朝は博多・天神から本校正門までの直行便があります。唐津バスセンターからは徒歩で約10分です。

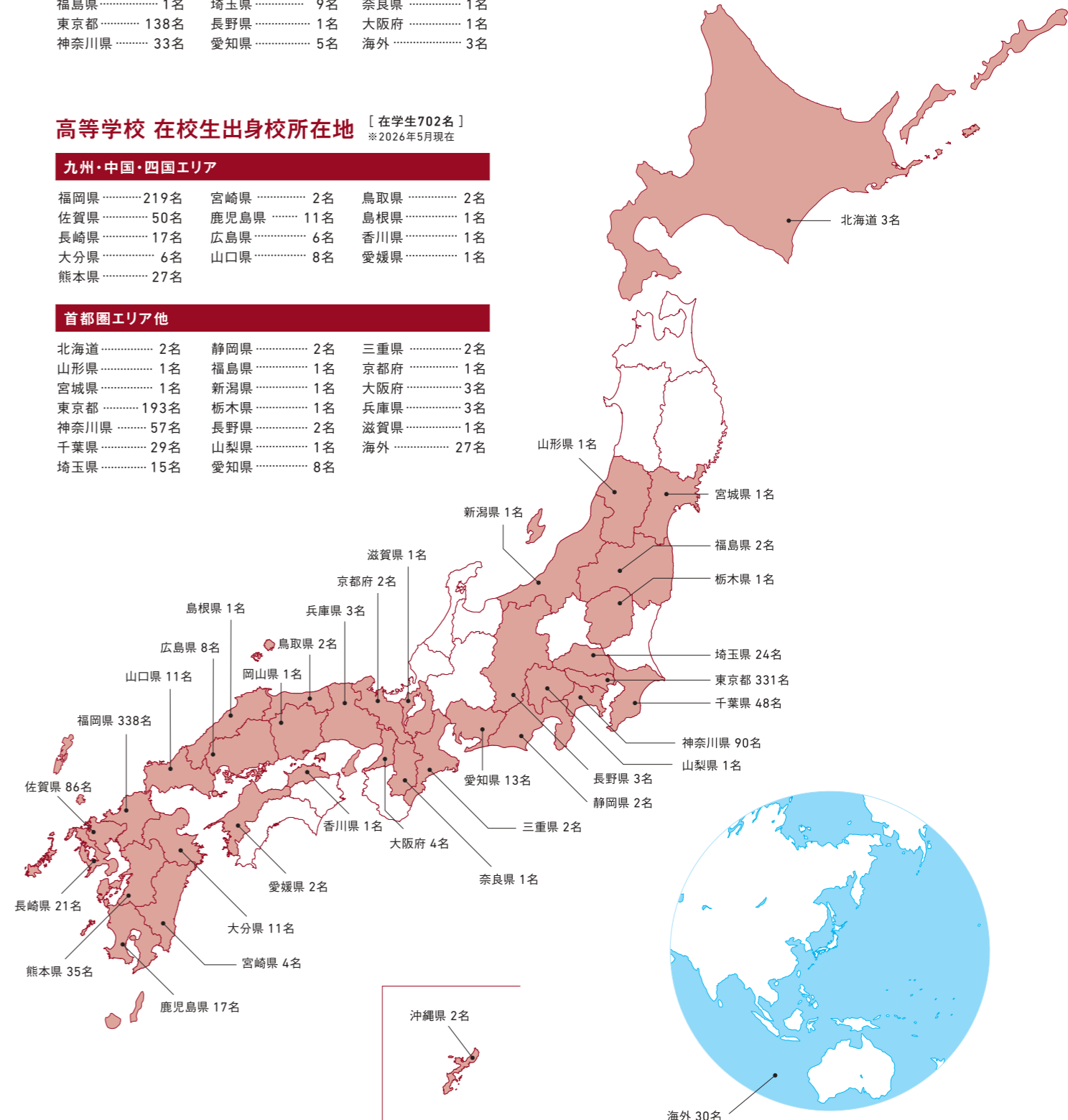


中学校 在校生出身校所在地 [在学学生402名] ※2026年5月現在

九州・中国・四国エリア					
福岡県	119名	熊本県	8名	岡山県	1名
佐賀県	36名	鹿児島県	6名	広島県	2名
長崎県	4名	宮崎県	2名	山口県	3名
大分県	5名	沖縄県	2名	愛媛県	1名
首都圏エリア他					
北海道	1名	千葉県	19名	京都府	1名
福島県	1名	埼玉県	9名	奈良県	1名
東京都	138名	長野県	1名	大阪府	1名
神奈川県	33名	愛知県	5名	海外	3名

高等学校 在校生出身校所在地 [在学学生702名] ※2026年5月現在

九州・中国・四国エリア					
福岡県	219名	宮崎県	2名	鳥取県	2名
佐賀県	50名	鹿児島県	11名	島根県	1名
長崎県	17名	広島県	6名	香川県	1名
大分県	6名	山口県	8名	愛媛県	1名
熊本県	27名				
首都圏エリア他					
北海道	2名	静岡県	2名	三重県	2名
山形県	1名	福島県	1名	京都府	1名
宮城県	1名	新潟県	1名	大阪府	3名
東京都	193名	栃木県	1名	兵庫県	3名
神奈川県	57名	長野県	2名	滋賀県	1名
千葉県	29名	山梨県	1名	海外	27名
埼玉県	15名	愛知県	8名		



唐津駅

唐津バスセンター

唐津城

本校の生徒たちを見守るようにそびえ立つ唐津城。豊臣秀吉の家臣、寺沢広高が、1602(慶長7)年から7年の歳月をかけて築城しました。展望所からは、唐津の雄大な景観が一望できます。

早稲田佐賀中学校 早稲田佐賀高等学校



附設寮八太郎館



第2グラウンド



弓道場

西の浜

本校や唐津城に隣接している、玄界灘の鳥々が目の前に広がる景色の良いビーチです。最近SUP(スタンドアップパドル)を楽しむ人でにぎわい、本校の生徒も楽しんでいます。

虹の松原

唐津湾沿いに全長約4.5km、幅約500mにわたって、虹の弧のように連なる松原。唐津藩初代藩主、寺沢志摩守広高が、防風・防潮林として植林し、その数は約100万本とされています。日本三大松原の一つで、国の特別名勝に指定。素晴らしい景観を保全するため、本校の生徒たちも地域ボランティアの一環として清掃活動に参加しています。



旧唐津銀行 「辰野金吾記念館」

城下町の風情漂う唐津のまちなかに、優雅に佇む旧唐津銀行。東京駅を設計した唐津出身の建築家、辰野金吾の監修で、1912(明治45)年に竣工。現在は地域情報の発信の場として活用されています。



唐津くんち

毎年11月2・3・4日の3日間にわたって開催される唐津神社の例大祭。2016年には、ユネスコ無形文化遺産に登録。「エンヤ、エンヤ」「ヨイサ、ヨイサ」のかけ声で、大きな曳山(ヤマ)が唐津のまちを駆け抜ける勇壮なお祭りです。「赤獅子」「鯛」「鯨」など、14台の曳山がずらりと並んだ光景は、まるで極彩色の絵巻のよう。八太郎館の前は曳山の巡行ルートで、祭りの盛り上がりを見守って楽しめます。



旧高取邸

1905(明治38)年に建てられた、炭鉱王・高取伊好の邸宅です。和風を基調としながらも、洋館が併設されるなど近代和風建築の素晴らしさを随所に堪能できます。



名護屋城跡

豊臣秀吉の「文禄・慶長の役」で、出兵拠点として築かれたのが名護屋城です。徳川家康や伊達政宗など全国から諸大名が集まり、城周辺には130以上の陣跡が点在しています。

